

平成27年度 天白区区政運営方針 取組実績

平成27年度天白区区政運営方針に掲げた事業・取り組みについて、その達成状況を4段階で評価しました。平成28年度の事業・取り組みにこの結果を活かし、区民の皆さまとともに、ぬくもりとやすらぎ、そして魅力に満ちた、誰からも愛されるまちをめざして努力します。

◇達成状況

めざすまちの姿	A	B	C	D	計
1 安心して暮らせるまち	6	0	0	0	6
2 すこやかにいきいきと暮らせるまち	9	5	0	0	14
3 魅力に満ちた愛着のもてるまち	9	7	1	0	17
合 計	24	12	1	0	37

□■評価基準■□

- A・・・目標（計画）達成率100%
- B・・・目標（計画）達成率80%以上
- C・・・目標（計画）達成率50%以上
- D・・・目標（計画）達成率50%未満

区政運営方針に対するご意見・ご提案をお寄せください。今後の区政運営に活かしてまいります。

天白区役所区政部企画経理室（区役所3階35番窓口）

〒468-8510 名古屋市天白区島田二丁目201番地 電話：052-807-3953 FAX：052-801-0826

メールアドレス：a8073951@tempaku.city.nagoya.lg.jp <http://www.city.nagoya.jp/tempaku/>

めざまちの姿 ①安心して暮らせるまち

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
<p>1 災害対策区本部の強化（総務課）</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価A</p>
<p>◇職員防災研修の実施 ◇区内公所防災担当者との連携強化 ◇天白区防災対策ガイド(仮称)の作成</p> <p>【目標】 新たな天白区防災対策ガイド(仮称)を策定します。</p>	<p>・学区ごとに避難所派遣における担当職員を決定する「職員避難所担当制」を導入し、避難所派遣時の業務に係る研修を実施するとともに、市立小中学校等避難所の現地確認を行い、延べ112人が参加しました。</p> <p>・区内公所防災担当者会議として、土砂災害の対応に関する会議や、平常時・災害時の連携についての打合わせ等を積極的に行いました。</p> <p>・天白区の特長や想定される災害を踏まえ、行政機関の備えや対策、自助・共助の取組み等、必要な情報をわかりやすくまとめた、天白区の防災対策ガイドを作成し、地域の防災活動や防災計画策定にお役立ていただけるよう、関係機関・団体や避難所施設に配付しました。</p>
<p>2 地域防災力の強化（総務課・消防署・生涯学習センター）</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価A</p>
<p>◇地域の災害対策の支援 ◇避難所リーダー養成講座・交流会の開催 ◇総合水防訓練、総合防災訓練の実施 ◇天白区防災・減災コーナーの設置 ◇自助力向上の促進 ◇地域防災力に関わる主催講座の開催</p> <p>【目標】 避難所開設・運営訓練を10学区以上で実施します。</p>	<p>・各学区の避難所リーダー修了生等による企画や自主防災訓練等の中で、計14回避難所開設・運営訓練が実施され、その支援等を行いました。</p> <p>・地域避難行動計画策定支援事業として、平針学区をモデル地区として、学区の防災検討委員会への参加やまち歩きを通して、震災避難行動マップの策定を支援しました。</p> <p>・避難所リーダー養成講座・交流会を開催し、訓練事例や被災地での教訓等を踏まえながら、避難所運営に係る講習を行うとともに、避難所リーダーや防災担当者等が地域の情報交換等を行うことを目的とした交流会を実施しました。</p> <p>・野並の水害から15年経過し、体験者も意識が薄れかけていた時機で参加者からもよい機会であったとの意見も聞かれました。</p> <p>・防災グッズ・地形的な観点からのハザードマップ・防災クロスロードというゲームを通じて地域の災害対策を考える等の多くのプログラムを用意した点で参加者から好評でした。</p> <p>・天白川の改修が進んでいるが、当時の災害の原因を深く掘り下げたプログラムもあり、より参加者の認識が深まりました。</p>
<p>3 災害に備えた保健活動（保健予防課）</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価A</p>
<p>◇災害時の健康管理、食の備えについての健康教育の実施 ◇区内の医療・介護事業者等との連携</p> <p>【目標】 地域で開催するサロン等で防災に関する健康教育を年10回以上開催します。(平成26年度実績 7回)</p>	<p>・区民を対象とした「防災に関する健康教育」を、学区主催の子育てサロンやふれあい給食会、ニューファミリーセミナーや離乳食講習会等で合計78回(対象人数1,764人)実施できました。</p> <p>・区内の医療・福祉事業所を対象に発災時に備え知識・技術のスキルアップを図るため研修会を実施しました。今後は事業所近辺で開催される、地域の防災事業に参加し相互に協働し発災に備え準備していくよう勧めました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 地域の自主防犯活動の推進（まちづくり推進室）	評価A
<p>◇街頭犯罪発生情勢に応じた防犯対策の実施 ◇地域における防犯パトロール強化への支援</p> <p>【目標】 街頭犯罪(重点罪種)認知件数の減少をめざします。(平成26年実績 797件)</p>	<p>・平成27年中の街頭犯罪(重点罪種)発生件数は、661件と、前年に比べて136件(−17.1%)減少し、犯罪率(人口1,000人当たりの認知件数)については8.69と市内で最も低い値となりました。</p> <p>・四季の市民運動期間中に、地域団体等と連携して、計25回のキャンペーン等を実施しました。</p> <p>・空き巣被害防止キャンペーンを植田東、大坪学区協力のもと計3回、82人の参加で実施しました。</p> <p>・街歩き防犯パトロール講習会(7月26日・区役所講堂・45人参加)を開催しました。</p> <p>・特殊詐欺に対する啓発を警察と協働し金融機関やふれあい給食の場等で実施しました。(発生件数19件(前年比72.7%増)、被害額5,246万円(前年比51.5%増))</p> <p>・名古屋市街頭犯罪抑止環境整備事業補助金を活用し、防犯灯のLED化(区内31団体、計159灯)や防犯カメラの設置(区内2団体、計8台)が実施されました。</p>
5 交通安全啓発活動の推進（まちづくり推進室）	評価A
<p>◇ゼロの日等の交通安全街頭指導・広報活動 ◇高齢者に対する交通安全啓発 ◇青少年に対する自転車利用マナーの向上呼び掛け</p> <p>【目標】 天白区内の人身事故発生件数について対前年比減少をめざします。(平成26年 816件)</p>	<p>・平成27年中の人身事故発生件数は788件と平成26年中の816件と比べて28件減少しました。</p> <p>・5、11月の自転車安全利用促進期間中、天白区内全高校、地下鉄4駅、区内スーパー3店舗にて啓発品の配布等を通じて自転車の適正利用を呼びかけるキャンペーンを実施しました。学区からの参加者(9学区:延べ139人)を含め、全体で222人の参加をいただきキャンペーンを実施しました。</p> <p>・7月12日(日)「交通安全サマースクールIN天白」を天白区役所講堂にて開催し、小学生・高齢者向けに、自転車教室や反射材体験等を行い、交通安全を呼びかけました。(参加者120人)</p> <p>・12月15日、生活安全・交通安全区民大会(ダブル・オー作戦 青色防犯パトロール出発式)を開催しました。(区役所講堂、200人参加)</p> <p>・4学区のふれあい給食に出向き、交通安全の意識を向上させるため講話と反射材を配布しました。(対象人数 延べ239人)</p> <p>・原則毎月0の日に11か所の交差点で区幹部職員が学区等と協働し街頭指導を実施しました。また実施日に合わせた区公用車による巡回広報を実施しました。</p>
6 食の安全・安心（生活環境課）	評価A
<p>◇区民や食品関係業者への食品関連情報の提供 ◇消費者や事業者との情報・意見交換会の開催 ◇食品関連施設に対する監視指導の実施</p> <p>【目標】 区内で食中毒事件を発生させません。</p>	<p>・年間を通して、食品関連施設に対する監視指導や、業者・市民等に対する各種衛生講習会の開催により、食の安全・安心の確保に努めました。</p> <p>・事業者や市民等に対する食品衛生講習会等を39回、延べ1,286人に対して実施しました。</p> <p>・食品関連施設への監視指導を3,419件実施しました。</p> <p>・天白区内における食中毒事件の発生はありませんでした。</p>

めざすまちの姿 ②すこやかにいきいきと暮らせるまち

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
<p>1 すくすく訪問（赤ちゃん訪問）・すくすくサロン（子育てサロン）の実施（民生子ども課・保健予防課）</p>	<p>評価B</p>
<p>◇すくすく訪問（赤ちゃん訪問）の実施 ◇すくすくサロン（子育てサロン）の実施</p> <p>【目標】 すくすく訪問（赤ちゃん訪問）を100%実施します。</p>	<p>・地域の主任児童委員等が全学区内の第1子誕生のご家庭を概ね3ヶ月後に訪問（826世帯）し、子育て情報冊子の配布や、すくすくサロンの情報提供等を行い、子育ての支援をしました。また、区内に転入された第1子誕生のご家庭にも、転入後、できるだけ速やかな訪問に努めています。</p> <p>・里帰り等で不在のため、直接お会いできたのは約93.6%でした。</p> <p>・主任児童委員や児童委員が中心となり、概ね0歳から3歳までの乳幼児を持つ親子の身近な地域での子育て仲間づくりの場となるように、手遊びや保健師の育児相談等、工夫をこらし、全学区で開催しました。</p>
<p>2 関係機関の連携による子育て支援（民生子ども課・社会福祉協議会）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇子どもに対する学習支援(新規) ◇子育て支援者交流会の開催 ◇天白白おやこ子育て広場を通じた交流の場づくり ◇子育て支援における幼稚園との連携 ◇天白白区子ども・子育てお役立ち便利帳改訂版の発行</p> <p>【目標】 子どもに対する学習支援をモデル事業として、2学区で実施します。</p>	<p>・天白白区独自事業として、小学校4・5・6年生を対象として、2学区で「学習支援」モデル事業を発足して、低所得世帯の貧困の連鎖を断ち切ることに取り組みました。</p> <p>・地域で子どもに関係する活動をしている団体、支援者が参加して、「子育て支援者交流会」を実施し、関係者間の交流を促進し、支援活動の増進に取り組みました。</p> <p>・「天白白おやこ子育て広場」を実施して、子育て中の親子が広く子育て情報を収集するとともに、地域で仲間づくりができる交流の場を設定しました。</p> <p>・私立幼稚園長会・名幼研天白白支部総会に出席して、幼稚園との情報交換を行い、連携強化を図りました。</p> <p>・「天白白区子ども・子育てお役立ち便利帳」の改訂版を作成し、3月下旬から配布を開始しました。保育所と幼稚園に関する情報ははじめとして子育てに関する必要な情報を網羅して、2,800部作成しました。</p> <p>・区役所窓口で配布するほか、赤ちゃん訪問の際や、各種講座等で、子育て世帯の方に配布しました。</p>
<p>3 児童虐待の防止（民生子ども課・保健予防課）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇子育てに悩む親向け講座の充実 ◇子育て講演会の開催 ◇子育て支援者交流会の開催(再掲) ◇親支援のためのグループミーティング ◇育児不安や困難感を抱えやすい保護者の支援</p> <p>【目標】 児童虐待による重大な被害の根絶をめざします。</p>	<p>・5月と11月の児童虐待防止推進月間(オレンジリボンキャンペーン)にあわせて、子育てに悩む親向けの講座として、「コモンセンス・ペアレンティング講座」、「スター・ペアレンティング講座」及び「子育て講演会」を実施して、養育支援に取り組むほか、育児不安や困難感を抱えやすい父母の支援のため、多胎児、発達障害児、ダウン症児を抱える父母に対して交流会、講演会を実施しました。</p> <p>・「親支援のためのグループミーティング」を実施して、養育支援に取り組みました。</p> <p>以上の取り組みにより、子育て中の保護者の不安をやわらげ、児童虐待による重大な被害の発生を防ぐことができました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 親と子のすくすく・のびのび育ちへの支援（保健予防課）	評価A
<p>◇母子手帳発行時、妊婦面接の全員実施 ◇妊娠期からの子育て支援講座の開催 ◇新生児・乳児時期からの育児支援 ◇妊産婦及び乳幼児の食育支援の推進 ◇歯と口の1日健康センターの開催</p> <p>【目標】 ニューファミリーセミナーの参加者を増やします。(平成26年度1回当たり20.8人参加)</p>	<p>・妊婦とその家族を対象とした子育て講座(ニューファミリーセミナー)の参加者は昨年度(延433人)と比較して微増し対前年度比104.3%である延484人でした。9月第1回目は、台風で悪天候のため4人と少なかったため、1回あたりの参加人数は20.2人と昨年度(20.8人)と変わりありませんでした。</p> <p>・母子手帳発行時に妊婦面接を全員に実施しました。 ・妊娠期からの子育て支援講座を12回開催し、延べ484人の方が参加しました。 ・新生児乳児期からの育児支援として、保健指導、3~4か月健診までの訪問指導を行いました。 ・離乳食教室、離乳食相談、幼児食講習会、妊婦への食育支援を実施し、延べ255人の方が参加しました。 ・歯と口の1日健康センターを開催し、519人の方が参加しました。</p>
5 青少年健全育成事業の推進（まちづくり推進室）	評価A
<p>◇青少年育成区民大会の実施 ◇青少年すこやかポスター・標語の募集、展示(拡大) ◇青少年健全育成キャンペーン事業の実施</p> <p>【目標】 青少年すこやかポスター・標語の出品数の前年比1割増をめざします。(平成26年 145点)</p>	<p>・青少年すこやかポスター・標語を募集し、区役所ロビー、生涯学習センター及び文化小劇場において作品を展示しました。今年度の応募総数は314点(前年度145点)で、116%増となり、目標を達成しました。</p> <p>・2月24日、青少年育成区民大会において、2学区の特色ある青少年健全育成活動の報告を行い、また、(財)安心安全インターネット塾による講演会(『大人が知らなきゃいけないインターネットの落とし穴』)を開催しました。(参加者数320人)</p> <p>・平針北学区及び原学区のコンビニエンスストア及び飲食店に対して、深夜に施設を利用する青少年への帰宅促し等の協力依頼を学区と連携し実施しました。</p>
6 障害者地域自立支援活動の推進（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会）	評価A
<p>◇障害に関連したテーマの講演会の開催 ◇授産製品のPR活動の推進</p> <p>【目標】 マーガレット号による授産製品の販売を、年12回以上行います。</p>	<p>・福祉と映画の集いでは、発達障害に関連したテーマのドキュメント映画を上映し、障害福祉事業所に通う方達を中心とした手話コース等を発表して、広く区民に障害者(児)に対する理解を深めてもらう啓発活動を行いました。入場者数は265名でした。</p> <p>・区役所内において、授産製品(自主製品)販売の支援を行い、普及・販売促進のPR活動に努め、販売実績も前年度から約2割増と伸びました。また、天白区の授産製品のカタログと関係事業所等を案内した冊子の製作・発行に協力しました。</p> <p>・移動販売車マーガレット号による授産製品の出張販売を20回行いました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
<p>7 高齢者が地域で安心して暮らすための支援体制の充実（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・いきいき支援センター）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇天白区地域包括ケア推進会議(地域支援ネットワーク運営協議会)の運営 ◇ひとり暮らし高齢者等の孤立死防止支援 ◇民生委員と専門職との連携(新規) ◇在宅医療と介護の連携(新規)</p> <p>【目標】 在宅医療と介護と連携の意義や目的を啓発するためのシンポジウムを開催します。</p>	<p>・天白区の地域包括ケアシステムの構築を推進するため、関係職種等と連携し地域の課題等の抽出・検討を行いました。</p> <p>・適切なサービスにつながっていない孤立しがちな高齢者の見守り支援を行うため、多職種による地域支援ネットワークを構築し、地域との関係づくりを行いました。(14人)</p> <p>・高齢者に関わる民生委員とケアマネジャーが情報を共有できるよう、「つなぎシート」を配布し相互に連携できるようにしました。(392枚)</p> <p>・地域から孤立しがちなひとり暮らし高齢者を、高齢者福祉相談員が訪問した際、かかりつけ医等の情報が記載できる緊急用マグネットを配布しました。(102枚)</p> <p>・「天白区在宅療養を考えるシンポジウム」を開催し、これからの医療と介護のあり方について区民に向けた啓発事業を実施しました。(235人)</p>
<p>8 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・いきいき支援センター）</p>	<p>評価B</p>
<p>◇認知症高齢者支援事業の実施 ◇天白区版認知症ケアパスの作成(新規) ◇高齢者の権利擁護の支援 ◇介護フェスタの開催</p> <p>【目標】 はいかい高齢者おかえり支援サポーターの登録者数を800人にします。(平成26年度 647人)</p>	<p>・認知症サポーター養成講座を金融機関や公所(署)・学区等で開催し、認知症に対する正しい理解と知識の普及を図りました。(46回、延べ1,102人)</p> <p>・はいかい高齢者おかえり支援サポーターの登録者数が672人となり、目標を達成することはできなかったものの、多くの方に事業の周知を図ることができました。</p> <p>・はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練を実施し、参加した地域住民等に、はいかい高齢者への対応方法や、認知症についての理解を深めることができました。(平針南学区と大坪学区合計で528人)</p> <p>・認知症高齢者を支える家族が集まり、介護の悩みや情報交換等を行う家族サロンを開催しました。(26回、延べ260人)</p> <p>・天白版の認知症ケアパスを作成しました。</p> <p>・介護フェスタを開催し、介護に関する様々な情報提供を行いました。(参加者数722人)</p>
<p>9 高齢者の生きがいづくりと介護予防事業の推進（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・いきいき支援センター）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇高齢者の生きがいづくり ◇介護予防の推進 ◇地域サロン活動の促進</p> <p>【目標】 地域サロン活動を促進するため、新たに3か所の地域サロンを開設します。</p>	<p>・老人クラブ活動を活性化し比較的若い高齢者へ加入を促すため、愛称を”なごやかクラブ天白”とし、様々な機会でもPRに努め会員の増強に努めました。</p> <p>・閉じこもり気味な高齢者等への外出するきっかけづくりとして、「発見！天白お楽しみマップ」を区内の医院や薬局等へ配布しました。(医師会111部 歯科医師会70部 薬剤師会60部)</p> <p>・学区別担当者会議(保健所・いきいき支援センター・社協)を全学区で実施し、これからの地域における自主的な健康づくりの拠点となる場づくりを推進するため情報を共有しました。</p> <p>・地域サロン活動を促進するため、共生型を含むサロンを新たに6か所開設しました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
10 第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の確実な推進（社会福祉協議会）	評価A
<p>◇地域福祉課題を把握する機能と解決のしくみづくり ◇ネットワークづくり ◇福祉環境づくり</p> <p>【目標】 ボランティア入門講座の受講者のうち25%以上が活動者(ボランティア)となるように働きかけます。</p>	<p>・相生学区地域福祉活動計画「相あいプラン2016」(平成28年度～30年度)を策定しました。</p> <p>・福祉事業者、商店、販売店、ボランティア団体に対し、地域とのつながりに関するアンケート調査を実施し報告書を作成しました。(回収率49.6%)</p> <p>・主に退職後の男性を対象にボランティア入門講座「これからのオレに会う」を開催し、10人(実人数)が参加しました。そのうち7人がボランティア登録を行い、6人が実際にボランティア活動を行いました。</p>
11 精神障害者の地域生活支援者育成事業（保健予防課）	評価B
<p>◇精神障がい者の地域生活支援者への講習会の実施</p> <p>【目標】 参加事業所を15か所以上に増やすことを目標とします。 参加者へのアンケートを実施し、8割以上の満足度を得ることを目標とします。</p>	<p>・講演会には13事業所16人が参加しました。</p> <p>・参加者へのアンケート結果は、講演会が「わかりやすかった」と答えた方、「まあまあわかりやすかった」と答えた方、「少しわかりにくい」と答えた方それぞれが3割でした。「アルコール依存症について理解が深められたか？」という問いには、「理解できた」、「まあまあ理解できた」と答えた方が9割であり、「今回の講演会に参加してよかったか？」という問いには、全員が良かったと回答しました。</p>
12 地域ふれあい健康づくり活動（保健予防課）	評価B
<p>◇ふれあい健康相談会の開催 ◇区民健康づくりセミナーの開催</p> <p>【目標】 ・ふれあい健康相談会は、延べ600人以上の参加・相談者をめざします。 ・平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸に努めます。</p>	<p>・ふれあい健康相談会を福祉会館、天白公園(区民まつり)にて実施しました。福祉会館では、健康づくり講演と健康相談を実施し、天白公園では健康クイズ等を実施しました。本年度新たに実施した健康クイズには435人が参加し、答え合わせと共に健康教育も実施出来ました。また、虫歯菌検査も実施し、クイズと共に幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加がありました。ふれあい健康相談会の参加人数は延べ560人でした。</p> <p>・区民健康づくりセミナーを天白文化小劇場にて実施し、認知症及びがんについて3人の講師の講演を行いました。アンケートでは、そのすべての講演で8割以上の「大変満足した」「まあまあ良かった」の評価を得ました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
13 生涯学習の振興（生涯学習センター）	評価B
<p>◇地域デビュー講座の開催(新規) ◇いつまでもイキイキシルバーライフ講座(新規)等主催講座の開催 ◇天白テニユア(天白終身講師)の活躍の場の拡大</p> <p>【目標】 地域デビュー講座の受講者を30人(定員)集め、講座終了後、自主グループとして活動することをめざします。</p>	<p>・天白の特色を生かした魅力ある講座・事業の実施については、重点目標である「地域デビューしてみませんか」の講座の受講者について目標である受講者30人に対し22人と目標に達しなかったが、もう一つの目標である自主グループを立上げることができました。その後4回活動し、講座時の講師も引続き、自主グループへの支援の協力も得られています。その他「地元の特産のおいしい話」の四季の会と「守り伝えたい天白の歴史」の歴友会にそれぞれ自主グループに参加者が入会し、学習を継続しています。</p> <p>・後期講座の「まだまだこれから生き生きシルバーライフ」については、受講者の定員が40人に対し、申込者が大きく上回ったため、拡大し48人となりました。併せて公開講座(一般参加も可能なため)は52人も参加者があり、目標を大幅に超える魅力ある講座となりました。更に、「講座の内容をぜひ各学区で行いたい。」との要望も寄せられ、生涯学習センターの役割でもある「学習内容を地域還元する」に寄与しました。</p> <p>・天白テニユア(天白終身講師)の活躍の拡大については、上記実績のとおり生涯学習センターに気軽に参加できる機会を増やし、新たな生涯学習を始めるきっかけづくりを行いました。</p>
14 高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクト（まちづくり推進室）	評価A
<p>◇名古屋大学コンサルティングファームとの連携 ◇各種アンケートによる実態調査 ◇リノベーションや地域再生に係る先進都市事例調査 ◇地域活性化計画の策定</p> <p>【目標】 高坂学区地域コミュニティ活性化計画を策定します。</p>	<p>・高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクト検討会を8回、高坂つながるフォーラムの実施を11回実施し、計画を策定しました。</p> <p>・高坂学区の各種問題の構造化と現行の取り組みの関連性について整理しました。</p> <p>・平成27年度の活動報告書及び、その概要版を作成しました。</p> <p>・会議のなかで確認した問題構造化に関して、取り組んでいきたい内容を短期、中長期のアイデアとして整理しました。また、そのなかで平成27年度に着手した取り組みがありました。</p>

めざまちの姿 ③魅力に満ちた愛着のもてるまち

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
<p>1 町を美しくする運動の推進（まちづくり推進室・保健所）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇「天白区クリーンキャンペーン」の実施(後掲) ◇空家等対策の実施(新規) ◇学区開催の町美運動への支援 ◇学区の花コンテストの実施</p> <p>【目標】 天白区クリーンキャンペーンへの参加団体増加をめざします。(平成26年度 平針南学区での参加団体:3団体)</p>	<p>・空家等対策は関係法令全面実施の初年度に当たり、数年来問題となっていた特定空家等1件の他、今年度通報のあった半数以上の空家等について問題の解消ができましたが、10年来の空家等1件をはじめ一部は引き続き指導等が必要な事例があり課題が残りました。</p> <p>・クリーンキャンペーンは3団体の参加を含め、例年どおり多くの区民の皆様のご協力をいただき実施することができました。</p> <p>・町美運動は、空地をきれいにする運動では約75%(75箇所115筆の内、56箇所89筆)の空地を地権者に清掃いただいた他、地域の皆様と一緒に各種の町美運動ができました。</p> <p>・区制40周年を記念して平成26年度に各学区で決めた「学区の花」の植栽風景等の写真をパネル化し、区民まつり会場にて展示を行い来場者に投票してもらい区長賞等決定し、会場にて表彰式を行いました(投票総数650)</p>
<p>2 ペットの飼主のマナー向上啓発事業（生活環境課）</p>	<p>評価A</p>
<p>◇ペットのマナー良し隊キャンペーンの実施 ◇広報媒体を活用した啓発 ◇なごやかキャットサポート事業の推進</p> <p>【目標】 「ペットのマナー良し隊」キャンペーンを3学区以上で実施します。</p>	<p>・ペットのマナー良し隊を、保健環境委員と協働で5学区、5か所で実施し、犬のフンの放置防止等適正飼養の啓発を行いました。</p> <p>・広報なごやか区版「保健所だより」に犬・猫の飼い方等に関する記事を載せました。(7月号、2月号、3月号)</p> <p>・なごやかキャットサポーターを6人から26人に増やし、みまもり地域を1か所設定しました。</p>
<p>3 身近な自然に親しむ取組み(まちづくり推進室・生涯学習センター)</p>	<p>評価A</p>
<p>◇「天白・もりのフォーラム」との協働事業</p> <p>【目標】 天白自然発見スタンプラリー、写真・スケッチの作品展の来場者数600人をめざします。</p>	<p>・年間を通じて9回の自然観察会(雨天により1回中止)を実施し、359人にご参加いただきました。参加者アンケートのうち、「参加してよかった」と回答した方の割合は98%でした。また、写真&スケッチ展は、農業センターのイベント期間中に開催したこともあり、多くの方にご覧いただくことができました。</p> <p>・結果、自然観察会と写真&スケッチ展の来場者目標600人に対し、894人にご参加いただきました。</p> <p>・出前授業は、もりのフォーラムの各団体により7校、2親子講座を生涯学習センターで、それぞれ実施しました。その他、前期講座で天白・川辺の楽校と後期講座で相生山緑地自然観察会代表の方を講師として参加してもらい、もりのフォーラムの活躍の場を設けました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 地産地消の推進（総務課（農政））	評価B
<p>◇区内朝市・直売所を巡る「地産地消スタンプラリー」の実施 ◇天白農政通信 ◇子どもたちの農業体験等への支援 ◇区役所敷地内での地元農産物の栽培、展示</p> <p>【目標】 地産地消スタンプラリーの応募者数を250人以上とします。</p>	<p>・「地産地消スタンプラリー」を実施して、地産地消の推進に努めました。応募者数は201人で、昨年度比83%となりました。</p> <p>・農に関する事業を掲載したチラシを発行して、区民への情報発信に努めました。（年1回、200部発行）</p> <p>・地元農家2人の方の協力のもと、子ども達の農業体験等を実施しました。（9月に1校で実施）</p> <p>・春から夏にかけて「くりあじかぼちゃ」を、秋から冬にかけて「八事五寸にんじん」を栽培し、成長の過程を来庁者にご覧いただき、収穫物を市及び区品評会に参考出展しました。</p>
5 「農」のある暮らしの推進（総務課（農政））	評価B
<p>◇農産物品評会・農業まつりの実施 ◇農家開設市民農園の推進</p> <p>【目標】 農産物品評会・農業まつりの来場者数を1,200人以上とします。</p>	<p>・「農産物品評会」では、区内在住農家の優秀な農産物を顕彰することによって農家の生産意欲の向上を図り、同時開催した「農業まつり」では、新鮮朝市によって区民に天白の農の豊かさをお楽しみいただきました。来場者数は約1,000人でした。</p> <p>・農家開設型市民農園の開設数は変化ありませんでしたが、窓口での相談やチラシ配架等により、引き続き農園開設に向けて取り組みました。</p>
6 環境デーなごや2015の実施（まちづくり推進室・南東部公害対策担当・環境事業所）	評価A
<p>◇「天白区クリーンキャンペーン」の開催 ◇地域環境イベントの実施 ◇環境デー区民まつり編の実施</p> <p>【目標】 わかりやすい展示や楽しいブース内容とし、区民の皆さまの環境保全に対する意識を高めます。</p>	<p>・例年どおり、地域住民をはじめ区内の大学生及び企業も含め、多くの参加を得て清掃活動を実施することができました。また、当日に参加団体等が署名した「環境宣言」を読み上げるとともに、一定期間、区役所に掲示することにより環境に関する区民の意識高揚を図ることができました。</p> <p>・緑のカーテンづくり講習会と生ごみのたい肥化のぼかし作り教室を開催しました。93人の方にご参加いただき、大変好評をいただきました。</p> <p>・天白区民まつりでセイロン瓜の紹介・緑のカーテンに関するパネル展示とクイズを行いました。1,350人の方にご参加いただき、大変好評をいただきました。</p> <p>・6月6日に区役所講堂において、ごみ分別ゲームを開催し、200の方が参加しました。</p> <p>・10月25日に天白公園内区民まつり会場において、「リモネンで手形づくり」（リサイクル工作教室）を開催し、250の方が参加しました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
7 地域に密着した環境教育（南東部公害対策担当）	評価A
<p>◇緑のカーテン普及啓発活動 ◇水辺の生き物観察教室の開催</p> <p>【目標】 緑のカーテン講習会参加者のアンケートで8割の方が満足であることをめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテン講習会」を実施し、緑のカーテンづくりの啓発を55人の参加者に行いました。満足度は97%でした。 ・毎月8日の「環境保全の日」を中心に地球温暖化防止に関する啓発を区役所来庁者延べ650人の方に行いました。 ・8月2日に天白川で「水辺の生き物観察教室」を開催し、水辺環境の保護・保全の重要性について啓発を行いました。子供から大人まで137人の方に参加していただき、大変好評でした。 ・セイロン瓜を使ったプロジェクトでは、名城大学や区内の公共施設で緑のカーテンの実施した他、平針南小学校の児童を中心にしてESD「持続可能な開発のための教育」を実施し好評を得ました。
8 天白の歴史・文化の魅力発信(まちづくり推進室・企画経理室)	評価C
<p>◇「天白ガイドボランティア歴遊会」との協働事業 ◇天白区にまつわる写真の活用</p> <p>【目標】 グループガイドの実施回数、年間15回以上をめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡散策ウォーキングを春・秋の2回実施し、32人の参加がありました。 ・参加者アンケートのうち、よかったと回答した方の割合は100%でした。 ・グループガイドボランティア活動の実施回数は、目標15回のところ9回でしたが、昨年度実績と比較すると増加しました。【26年度実績 3回のべ52人の参加】 ・区にまつわる写真を活用し、東海学園大学に「写真で見る天白区」第2弾の銘板「東海学園大学 円型棟(旧図書館)」を作成しました。 ・区制40周年記念写真展で使用した写真パネルを貸出し、多くの方になつかしい天白を感じていただきました。 ・庁舎内で写真パネルを掲示し、天白区のローカル色あふれる風景を区民の方に感じていただきました。 ・オリジナル名刺の裏面に「写真で見る天白区」として5種類の写真を印刷しました。
9 町内会・自治会加入促進への支援(まちづくり推進室)	評価B
<p>◇加入促進への支援 ◇新築マンション等への加入依頼 ◇転入者への情報提供</p> <p>【目標】 町内会加入率70%以上をめざします。(平成26年度末 61.96%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新任の区政協力委員に対しては、例年どおり町内会・自治会の加入促進について啓発を行うことができました。 ・建築確認情報を入手した区内の新築共同住宅(13棟)については、各町内会長に情報を提供し、町内会長から加入案内をしていただくことができました。なお、前年度に情報入手した72戸の大規模共同住宅は全戸加入の確認ができましたが、274戸の大規模共同住宅については全戸加入の確認はできませんでした。 ・転入者等の加入促進については、加入申込ポスト及び電子メールにより13件受け付け地域へ情報提供しました。 ・平成27年度末町内会加入率は61.94%でした。(3月末現在)

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
10 地域活動・市民活動の支援(まちづくり推進室)	評価B
<p>◇区民まつり「まつり天白2015」の開催 ◇「ふれあい協定」に基づく長野県中川村との交流 ◇「天白まちづくりサポータークラブ」との連携 ◇「一期一会」との連携(新規)</p> <p>【目標】 「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合を高めます。(区民アンケート結果 平成26年度 49.7%)</p>	<p>・区民まつりでは、子ども向け企画の充実、シェイクアウト訓練の実施等に加え、区内87団体の出店(展)を得て会場を盛り上げました。また、268人の運営ボランティアの方々にご協力いただきました。</p> <p>・長野県中川村とは、子ども会主催の交流会、リンゴの木のオーナーの募集等の交流事業を実施しました。</p> <p>・市民活動団体「天白まちづくりサポータークラブ」「一期一会」との協働事業を実施し、区民アンケートで「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合を高めることをめざしました。</p> <p>・「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合は42.4%でした。(26年度区民アンケート 49.7%)</p>
11 文化・スポーツ活動の推進(まちづくり推進室・生涯学習センター)	評価A
<p>◇第3回てんぱく音楽祭の開催 ◇天白区美術展・華道展の開催(拡充) ◇スポーツ大会の開催 ◇体育協会40周年記念事業の実施(新規) ◇スポーツ推進委員研修講座の開催(新規)</p> <p>【目標】 スポーツ体験イベント(仮称)の参加者100人以上をめざします。</p>	<p>・1月23日、区内高校生・大学生、一般の方(公募)及び天白区に縁のある音楽家の出演するてんぱく音楽祭を開催し、会場にのべ400人の観客が来場しました。</p> <p>・5月、10月に華道展(総出品数84杯)、10月に美術展(総来場者数534人、出品数182点)を開催しました。</p> <p>・天白区体育協会40周年記念学区対抗つなひき大会及びスポーツ体験イベント(レク・バレー)を開催し、それぞれ700人及び100人の参加者となり、目標を達成しました。</p> <p>・区内においてソフトボール、グラウンド・ゴルフ、バドミントン、卓球、レク・インディアカ、女性レク・バレー、ソフトテニス、軟式野球、剣道、男女レク・バレー等のスポーツ大会を開催・支援しました。(総参加人数(個人)1,276人、総参加チーム数124)</p>
12 区民に信頼され、親しまれる区役所づくり(総務課・市民課・企画経理室)	評価B
<p>◇来庁者の満足度の向上 ◇待ち時間の短縮 ◇混雑時期の広報 ◇待ち時間のご案内 ◇区政運営方針の策定と進行管理 ◇区独自財源の確保 ◇天白区についての新たなPR方法(新規)</p> <p>【目標】 窓口アンケートにおける満足度の向上をめざします。(平成26年11月実施結果 97.0%(「とても満足」「満足」の合計))</p>	<p>・外部講師による窓口対応調査に基づいた接遇研修等、年間を通して4回の研修を実施し、延べ84人の受講者がありました。各種研修を受講することにより、来庁されるお客様の状況に応じた対応や電話での対応の向上に努めました。</p> <p>・「ようこそ名古屋クリーンアップキャンペーン」(職員による区役所周辺の清掃活動)を年間を通して12回実施しました。</p> <p>・平成27年度窓口アンケートで満足度96.1%でした。</p> <p>・混雑が見込まれる日は、窓口を増設しました。</p> <p>・混雑時には、受付までの概ねの待ち時間をご案内しました。</p> <p>・広報なごや3月号と天白区ホームページで混雑する時期についての予想を掲載しました。</p> <p>・平成27年度の区政運営方針を策定し、多くの方に見てもらうため、区役所だけでなく、地下鉄駅等で配布しました。また平成27年度末に達成状況をとりまとめました。</p> <p>・自動販売機や広告付き案内地図等を設置し、広告収入等の自主財源を確保しました。</p> <p>・天白区のことを区民の方知ってもらうため、区のPRチラシを作成し、「ようこそ名古屋」に同封し配布しました。あわせて市バスでも配布しました。</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
13 区民のニーズや地域課題の把握(企画経理室・総務課・まちづくり推進室)	評価A
<p>◇区民アンケートの実施 ◇明日への提案箱(再掲) ◇「天白区を住みよくなる会」の活動支援 ◇地域課題やニーズを把握する学区担当制の充実、継続</p> <p>【目標】 区役所の仕事ぶりについて「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じている区民の割合を高めます。(区民アンケート結果 平成26年度 23.6%)</p>	<p>・無作為抽出による20歳以上の男女1,000人を対象とした区民アンケートを実施し、区民ニーズの把握に努めました。(回収率41.5%) ・アンケートの結果について区政推進会議、区政協等で報告したほか、ホームページに掲載しました。</p> <p>・来庁者からの提案を受け、職員の名札を来庁者にはっきりと見える高さに着用するよう周知徹底したことを始め、区役所内に設置している表示をよりわかりやすく改善する等、よりよい区役所、区民サービスに繋がる取組みを行いました。</p> <p>・天白区を住みよくなる会の要望活動の支援を実施し、関係する行政当局からの回答を代議員会にて報告しました。</p> <p>・学区が実施する活動(交通安全、生活安全、町美)に述べ34回参加し、啓発活動の支援を行いました。 ・まちづくり推進室の職員が区内17学区の担当として、それぞれ会議(27回)や夏まつり等のイベント(11回)に参加し、参加した職員がまちづくり推進室の朝礼等で報告するなど情報共有ができました。</p> <p>・区役所の仕事ぶりについて「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じている区民の割合は24.1%でした。(26年度区民アンケート 23.6%)</p>
14 名城大学との連携・協力(企画経理室)	評価A
<p>◇名城大学との連携・協力(新規) ◇子どもに対する学習支援(再掲) ◇認知症高齢者支援事業の実施(再掲) ◇授産製品のPR活動の推進(再掲) ◇てんぱく未来アSEMBリー(子ども会議)の開催(後掲)</p> <p>【目標】 名城大学との連携・協力をより一層深めます。</p>	<p>・連携・協力協定に基づき、地域社会の発展に寄与する事業の調整を行い、実施しました。 ・3月に事業報告会を開催し、事業報告や意見交換を行い、より一層協力できる形につながりました。</p> <p>・新しい時代を担う子どもたちを対象に、将来の天白区がどのようになっていたらよいかを考える「てんぱく未来アSEMBリー(子ども会議)」を開催し、18人の小学生が参加して、現在の天白について学びながら将来の天白について作文を書いてもらいました。最終的に「てんぱく未来レポート」をまとめ、子どもたちや協力施設に配布しました。</p>
15 区政に関する広報・情報提供手段の充実(まちづくり推進室・企画経理室)	評価B
<p>◇広報なごや区版の発行 ◇その他メディアによる情報提供 ◇行政情報モニターの設置</p> <p>【目標】 行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されていると答える人の割合を高めます。(区民アンケート結果 平成26年度 32.6%)</p>	<p>・広報なごや区版では、特集記事として「体育協会40周年(5月)」、「チェコからの贈り物(7月)」、「振り込め詐欺撃退法(12月)」、「子育て支援特集(2月)」等、時期に応じたイベント情報や啓発記事を掲載しました。</p> <p>・その他のメディアでの情報提供にも努め、区民アンケートで行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されていると答える人の割合を高めることを目指しました。</p> <p>・区役所1階及び保健所2階の各待合スペースに設置したモニターにより、イベント・講座の参加者募集や市民課における手続き等の区政情報を提供しました。</p> <p>・行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されていると答えた人の割合は29.7%でした。(26年度区民アンケート 32.6%)</p>

平成27年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
16 天白区への愛着心の醸成(企画経理室)	評価B
<p>◇天白区についての新たなPR方法(新規) ◇てんぱく未来アSEMBリー(子ども会議)の開催(新規) ◇区のキャッチフレーズロゴ利用の推進</p> <p>【目標】 天白区に住み続けたいと答えた方の割合を増やします。(区民アンケート結果 平成26年度 83.5%)</p>	<p>・天白区のことを区民の方に知ってもらうため、区のPRチラシを作成し、「ようこそ名古屋」に同封し配布しました。あわせて市バスでも配布しました。</p> <p>・新しい時代を担う子どもたちを対象に、将来の天白区がどのようになっていたらよいかを考える「てんぱく未来アSEMBリー(子ども会議)」を開催し、18人の小学生が参加して、現在の天白について学びながら将来の天白について作文を書いてもらいました。最終的に「てんぱく未来レポート」をまとめ、子どもたちや協力施設に配布しました。</p> <p>・オリジナル名刺(表面に区のキャッチフレーズロゴ、裏面にかぼっちと「写真で見る天白区」を印刷)を作成し活用しました。 ・区政協力委員、民生委員・児童委員、保健環境委員にも同じ名刺を使用していただきました。 ・イベントチラシ等で、区のキャッチフレーズロゴを活用しました。</p> <p>・天白区に住み続けたいと答えた人の割合は80.3%でした。(26年度区民アンケート 83.5%)</p>
17 マスコットキャラクターを活用した天白区の魅力発信(まちづくり推進室)	評価A
<p>◇区内の施設、名所・旧跡の紹介 ◇区役所主催のイベントに参加 ◇学区主催の地域行事へ着ぐるみ貸出 ◇各課窓口にかぼっちミニ看板と名刺カードの設置・配布 ◇職員名刺裏面にかぼっちを刷り込みPR(再掲) ◇かぼっちをPRするポスターとウォールステッカー作成・配布</p> <p>【目標】 マスコットキャラクター着ぐるみの年間出動回数30回をめざします。</p>	<p>・マスコットキャラクターの着ぐるみが区役所主催の各種イベントに41回、学区主催の地域行事に12回、学校等、その他の団体の行事に7回出動し、年間出動回数は、69回となりました。</p> <p>・区主催の行事、学区主催の地域行事について、マスコットキャラクターを活用し(ホームページ18回、フェイスブック11回)記事を掲載しました。</p> <p>・区役所内の各課の表示板にウォールステッカーの貼付、区役所各課窓口、区内コミュニティセンター等にぬいぐるみを展示等、マスコットキャラクターが区民の方の目に触れる機会を増やしました。</p>